



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月2日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7446 URL <http://www.t-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理グループ経理部長 (氏名) 小寺 伸哉 (TEL) 0172-33-8131  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	15,491	4.3	121	18.5	135	14.9	73	61.6
27年9月期第2四半期	14,856	△6.6	102	△57.6	117	△53.8	45	△72.1

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 71百万円(△67.1%) 27年9月期第2四半期 217百万円( 33.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	15.62	—
27年9月期第2四半期	9.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	14,287	4,727	33.0	1,004.71
27年9月期	13,893	4,735	34.0	1,006.88

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 4,720百万円 27年9月期 4,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	30,800	4.2	280	36.0	306	27.3	130	△18.3
								27.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	4,800,000株	27年9月期	4,800,000株
28年9月期2Q	102,027株	27年9月期	102,027株
28年9月期2Q	4,697,973株	27年9月期2Q	4,698,925株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和策などにより企業収益や雇用情勢の改善や堅調な個人消費で穏やかに回復基調で推移してまいりましたが、原油安や中国経済の減速懸念などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ、売上高は、154億91百万円と6億34百万円(4.3%)の増収、営業利益は、1億21百万円と19百万円(18.5%)の増益、経常利益は、1億35百万円と17百万円(14.9%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、73百万円と27百万円(61.6%)の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### (化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります電子部品産業が中国経済停滞の影響を受けましたが、国策によるジェネリック医薬品製造業が高稼働を維持し、前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、民間企業の設備投資が増加したことにより前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、全体で70億円と1億99百万円(2.9%)の増収となりましたが、セグメント利益(売上総利益)は、競争激化の影響もあり、6億円と25百万円(△4.0%)の減益となりました。

#### (臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、需要増や検体検査項目の新規採用による増加などにより前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、新規納入分が計画通り進んだため前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、全体で67億24百万円と3億6百万円(4.8%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、利益率の改善により5億94百万円と66百万円(12.5%)の増益となりました。

#### (食品)

食品は、円安による原料等の高騰や消費低迷の影響による生産調整などありましたが、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、15億84百万円と98百万円(6.6%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、1億32百万円と5百万円(4.2%)の増益となりました。

#### (その他)

その他は、栽培面積の減少や農薬使用回数の削減など厳しい状況が続いておりますが、暖冬の影響で農薬の需要が早まり、早期納品となったため、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、1億82百万円と30百万円(20.4%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、30百万円と0百万円(2.5%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、3億93百万円増加し、142億87百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、4億1百万円増加し、95億59百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、8百万円減少し、47億27百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

#### (資産)

資産の増加の主な要因は、現金及び預金が2億19百万円及び商品が1億97百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

負債の増加の主な要因は、リース債務が75百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が5億28百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産の減少の主な要因は、利益剰余金が6百万円及びその他投資有価証券評価差額金が4百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、2億31百万円増加し、9億10百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は、3億28百万円（前年同四半期は、4億31百万円の取得）となりました。主な要因は、たな卸資産の増加額が、1億97百万円あったものの仕入債務の増加額6億12百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は、58百万円（前年同四半期は、28百万円の取得）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出12百万円があったものの有形固定資産の売却による収入40百万円及び投資事業組合分配金による収入13百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は、1億55百万円（前年同四半期は、1億24百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払額79百万円及び長期借入金の返済による支出34百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第2四半期までの業績動向を踏まえ、平成27年11月16日に公表した通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要なものはありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。 )等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	808,247	1,027,565
受取手形及び売掛金	7,290,331	7,425,665
商品	798,082	995,938
繰延税金資産	49,177	39,579
その他	323,217	302,622
貸倒引当金	△2,522	△1,400
流動資産合計	9,266,533	9,789,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	421,677	406,491
土地	1,604,835	1,569,373
リース資産(純額)	144,870	128,170
その他(純額)	288,978	292,763
有形固定資産合計	2,460,363	2,396,798
無形固定資産		
のれん	64,896	48,672
その他	14,131	12,702
無形固定資産合計	79,027	61,374
投資その他の資産		
投資有価証券	1,141,447	1,127,613
リース投資資産	127,085	92,057
その他	857,163	858,499
貸倒引当金	△38,038	△38,836
投資その他の資産合計	2,087,657	2,039,333
固定資産合計	4,627,048	4,497,507
資産合計	13,893,582	14,287,477
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,277,944	7,806,322
電子記録債務	91,194	158,004
短期借入金	380,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	68,760	68,760
リース債務	153,918	126,131
未払法人税等	68,814	50,403
賞与引当金	62,370	56,740
その他	168,972	123,061
流動負債合計	8,271,974	8,749,423
固定負債		
長期借入金	189,660	155,280
リース債務	233,019	184,890
繰延税金負債	157,693	162,506
退職給付に係る負債	106,161	105,912
役員退職慰労引当金	162,875	168,495
その他	36,485	33,328
固定負債合計	885,894	810,413
負債合計	9,157,868	9,559,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,685,868	2,679,797
自己株式	△46,873	△46,873
株主資本合計	4,340,494	4,334,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418,865	414,714
退職給付に係る調整累計額	△29,048	△29,048
その他の包括利益累計額合計	389,816	385,665
非支配株主持分	5,402	7,551
純資産合計	4,735,713	4,727,640
負債純資産合計	13,893,582	14,287,477

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	14,856,742	15,491,639
売上原価	13,546,305	14,134,289
売上総利益	1,310,436	1,357,349
販売費及び一般管理費	1,207,481	1,235,356
営業利益	102,954	121,993
営業外収益		
受取利息	1,938	1,187
受取配当金	5,635	7,514
受取手数料	5,185	4,874
保険解約益	4,072	—
その他	3,922	4,314
営業外収益合計	20,754	17,891
営業外費用		
支払利息	4,397	3,740
持分法による投資損失	668	1
その他	696	576
営業外費用合計	5,763	4,317
経常利益	117,946	135,567
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,647
投資事業組合運用益	13,425	2,007
特別利益合計	13,425	3,655
特別損失		
固定資産除却損	82	344
固定資産売却損	—	601
投資有価証券評価損	2,050	—
特別損失合計	2,132	946
税金等調整前四半期純利益	129,239	138,276
法人税、住民税及び事業税	73,894	45,495
法人税等調整額	9,927	17,153
法人税等合計	83,821	62,649
四半期純利益	45,417	75,627
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,254
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,417	73,372

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	45,417	75,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172,949	△4,150
退職給付に係る調整額	△977	—
その他の包括利益合計	171,971	△4,150
四半期包括利益	217,389	71,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,389	69,327
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,149

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	129,239	138,276
減価償却費	40,185	41,557
投資事業組合運用損益(△は益)	△13,425	△2,007
投資有価証券評価損益(△は益)	2,050	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,647
引当金の増減額(△は減少)	△2,777	△583
受取利息及び受取配当金	△7,574	△8,702
支払利息	4,397	3,740
持分法による投資損益(△は益)	668	1
固定資産除売却損益(△は益)	82	946
のれん償却額	16,224	16,224
売上債権の増減額(△は増加)	98,604	△130,512
たな卸資産の増減額(△は増加)	△101,258	△197,855
仕入債務の増減額(△は減少)	377,085	612,850
その他	△25,067	△91,523
小計	518,434	380,764
利息及び配当金の受取額	7,508	8,816
利息の支払額	△4,407	△2,164
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△90,502	△58,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	431,032	328,852
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,836	△12,560
有形固定資産の売却による収入	—	40,098
無形固定資産の取得による支出	△1,791	—
投資有価証券の取得による支出	△8,934	△9,863
投資有価証券の売却による収入	—	4,000
投資事業組合からの分配による収入	44,700	13,730
その他	△909	22,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,228	58,323
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,490,000	2,180,000
短期借入金の返済による支出	△2,490,000	△2,200,000
長期借入金の返済による支出	△34,380	△34,380
配当金の支払額	△70,185	△79,775
その他	△20,160	△21,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,726	△155,634
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	334,535	231,540
現金及び現金同等物の期首残高	809,321	679,241
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,143,857	910,782

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,801,147	6,418,308	1,485,589	151,696	14,856,742	—	14,856,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,801,147	6,418,308	1,485,589	151,696	14,856,742	—	14,856,742
セグメント利益	625,404	527,937	126,890	30,203	1,310,436	—	1,310,436

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,000,546	6,724,324	1,584,200	182,567	15,491,639	—	15,491,639
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,000,546	6,724,324	1,584,200	182,567	15,491,639	—	15,491,639
セグメント利益	600,195	594,036	132,169	30,948	1,357,349	—	1,357,349

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

連結子会社の吸収合併

当社は、平成27年11月16日開催の取締役会において、当社の連結子会社である北星化学株式会社を吸収合併することを決議し、平成28年4月1日に合併いたしました。

(1) 取引概要

①結合当事企業の名称及び当該事業の内容

結合当事企業の名称 北星化学株式会社

事業の内容 一般試薬、臨床検査試薬の販売

②企業結合日

平成28年4月1日

③企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社とし、北星化学株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

④企業結合後の名称

東北化学薬品株式会社

⑤その他取引の概要に関する事項

北星化学株式会社を吸収合併することにより、経営の効率化を図ります。

(2) 実施する予定の会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。